



JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

日本弁理士会

知的財産 支援活動だより

特集 スタートアップ向けセミナーの報告



トピックス

3月までの支援活動（東北会・関東会・東海会・関西会・中国会・九州会）

目次

特集 スタートアップ向けセミナーの報告

知的財産経営センター スタートアップ支援セミナー実行プロジェクトチーム リーダー 竹本如洋 4

1. 3月までの支援活動

東北会

令和4年度みやぎ知財セミナー
東北会 藤田正広 8

関東会

「発明工作授業」江戸川区産業ときめきフェア実行委員会
知財創造教育支援委員会 斉藤進 9

「発明工作授業」台東区少年少女発明クラブ
知財創造教育支援委員会 副委員長 金子彩子 11

「知財授業」東海大学付属市原望洋高等学校
千葉委員会 委員 高橋洋平 12

東海会

「第15回おもしろ科学教室」名古屋大学
東海会 教育機関支援機構 委員 久米早江子 14

第5回休日パテントセミナー2022in 名古屋
東海会 知的財産権制度推進委員会 委員長 朝倉美知
委員 今井邦博 16

「生活お困りごと無料相談会」名古屋自由業団体連絡協議会主催
東海会 広報企画委員会 委員長 古田広人
委員 神谷幸雄
委員 西脇真紀子 17

「知財紛争劇」鈴鹿工業高等専門学校
東海会教育機関支援機構 副機構長 伊藤正典 18

関西会

「知的財産特別授業」東近江市立市原小学校
関西会知財授業担当 岸本忠昭 19

「知的財産特別授業」久御山町立佐山小学校	関西会知財授業担当	森山彰子	20
「知的財産特別授業」甲賀市立大原小学校	関西会知財授業担当	古澤寛	21
三会協働知財支援プロジェクト 企業力向上セミナー	知財普及・支援委員会	大村和史	22

中国会

中小企業向け知的財産セミナー「特許・意匠・商標の基礎を学ぼう！」	中国会	広報委員	藤本昌平	24
----------------------------------	-----	------	------	----

九州会

知的財産（種苗法・商標法等）の保護について	弁護士・弁理士	青山隆徳	25
-----------------------	---------	------	----

2. 支援活動一覧表（4 月から）

・相談	25
・講演	27
・その他	27

3. 支援活動一覧表（3 月分）

・相談	28
・講演	30
・その他	31

本日より Web でも閲覧できます。日本弁理士会ホームページ (<https://www.jpaa.or.jp/>)



スタートアップ向けセミナーの報告

知的財産経営センター スタートアップ支援セミナー

実行プロジェクトチーム リーダー 竹本如洋

2022年度は、日本弁理士会が「スタートアップ支援元年」を掲げ、スタートアップ向けの各種施策を実行した1年でした。知的財産経営センターの中に、スタートアップ支援セミナー実行プロジェクトチームを立ち上げ、関東会、東北会、九州会の地域会と連携しつつ東京、仙台、福岡にて3回のスタートアップ向けシリーズセミナーを開催しました。

この3回のセミナーでは、(一社)日本ベンチャーキャピタル協会の後援を得ることができ、仙台ではベンチャーキャピタリストの講演もしていただき、ハイブリッド形式のリアルとオンラインの合計で、東京42名、仙台78名、福岡56名の方々に参加して頂き、弁理士会のスタートアップサポートについての認知を拡大することができたと共に、スタートアップにとって有用な情報の発信ができました。

以下各会場でのセミナーの詳細になります。

【東京】

1. 開催日時：令和4年12月2日（金）18：00～20：00
2. 会場：株式会社KADOKAWA 五番町グランドビル 7F セミナールーム、オンライン配信
3. 主催：日本弁理士会
4. 共催：特許庁 スタートアップ支援班
5. 後援：一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
6. 協力：角川アスキー総合研究所、ASCII STARTUP
7. 参加人数：ハイブリッド42名
8. プログラム：
 - ・開会挨拶（日本弁理士会 杉村純子会長）
 - ・特許庁のスタートアップへの取り組みの紹介（特許庁スタートアップ支援班 班長 芝沼隆太氏）
 - ・弁理士会のスタートアップへの取り組みの紹介（日本弁理士会 知的財産経営センター 大澤豊氏）
 - ・パネルディスカッション「スタートアップ企業における外部に向けた知財活用について」

パネラー：

Spiber 株式会社 知的財産管理室 執行役員 蔣李氏

株式会社オプティム 社長室知的財産ユニット マネージャー 村井慶史氏

株式会社マネーフォワード 知財戦略部部長 小日向小百合氏

株式会社ビードットメディカル コーポレート本部 知的財産室 室長 及び本 PT メンバー 高柳弘泰氏

特許庁 企画調査課 課長補佐（スタートアップ支援班長） 芝沼隆太氏

モデレーター：

ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 IP & Legal Function リーダ 及び本 PT メンバー 木本大介氏

9. 内 容：

本セミナーは、実際のスタートアップの中で活躍する知財部門の担当者の方々の実際の経験談

を通して知財の活用事例について知っていただき、スタートアップ企業が知財への意識を高め投資意欲を加速することを目的として開催しました。

当会会長の開会挨拶をはじめとして、次に IPAS や IP BASE などの特許庁の取り組みをご説明いただきました。その後に、スタートアップ向けのセミナーの開催や知財コンサルティング支援等の弁理士会の取り組みを説明しました。

パネルディスカッションでは、今現在スケールアップされている元スタートアップ企業において知的財産部門を担当されている方々をパネリストに迎え、知財情報の社内発信について、知財活動の成功事例、知財活動に力を入れ始めたきっかけ等のスタートアップが規模を大きくする場合における知財活用に関する実際の経験談をお話いただきました。また、パネリストの中には、スタートアップ企業の知的財産部門の支援を今現在担当している弁理士や特許庁職員も含まれており、様々な視点から具体的な議論を行うことができました。

パネルディスカッションの最後では、各パネリストからセミナー聴講者に対して、知財への意識をより高めることが重要である等のコメントがありました。



【仙台】

1. 開催日時：令和 5 年 1 月 20 日（金）18：00～20：00
2. 会 場：TKP ガーデンシティ仙台 ホール 30A（仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 30F）、
オンライン配信
3. 主 催：日本弁理士会
4. 後 援：東北経済産業局、宮城県、仙台市、特許庁、日本商工会議所、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会（以下、「VC 協会」と記載します。)
5. 参加人数：ハイブリッド 78 名
6. プログラム：
 - ・開会挨拶（日本弁理士会 杉村純子会長）
 - ・日本弁理士会によるスタートアップ支援の取り組みの紹介 及び スタートアップの知財戦略のケーススタディの紹介（本PTリーダー 竹本如洋）
 - ・VCから見た知財の重要性（モバイル・インターネットキャピタル株式会社 チーフ・インベストメント・オフィサー 元木新氏）
 - ・スタートアップのための海外知財の押さえ方（日本弁理士会 国際活動センター、日本弁理士会東北会 村雨圭介氏）
 - ・LeapMind株式会社の知財戦略（LeapMind株式会社IP team 及び本PTメンバー 市川茂氏）
 - ・日本弁理士会東北会の事業紹介（日本弁理士会東北会 副会長 藤田正広氏）

7. 内 容：

本セミナーはVC協会から元木氏が参加し「VC から見た知財の重要性」の講演を行っていただきました。元木氏は、日本技術貿易（株）にて特許／論文情報を利用した調査コンサルティングに従事されたご経験があり、知財をスタートアップのファイナンスに活用できた事例として、可能性面での評価（経営陣のアイデアと技術力の裏付け）と、リスクチェック面での評価（競合比較での強みの確認）をご説明頂きました。また、知財に関する取り組みは継続性が重要であり、VC と相談して事前に資金手当てをしておくべきであるをご助言頂きました。

「スタートアップのための海外知財の押さえ方」の講演では、実際の事例を交えながら、外国における商標関連の留意点と、外国への効果的な特許出願の方法をご紹介しました。また、これまでの実務経験に基づき、スタートアップ企業等が陥りがちな困った状況を例示し、その状況の打開策をご提案しました。

「LeapMind 株式会社の知財戦略」の講演では、技術的な強みを活かしたライセンスビジネスを紹介しました。そして、将来に渡ってライセンスビジネスを保護するための活動として、①自社の強みの把握と、②把握した対象の保護の2つのステップについて具体例を示しながら解説しました。



【福岡】

1. 開催日時：令和5年2月10日（金）18：00～20：00
2. 会 場：Fukuoka Growth Next イベントスペース(福岡市中央区大名2-6-11)、オンライン配信
3. 主 催：日本弁理士会
4. 後 援：九州経済産業局、福岡県、福岡市、特許庁、日本商工会議所、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
5. 協 力：スタートアップカフェ
6. 参加人数：ハイブリッド56名
7. プログラム：
 - ・開会挨拶（日本弁理士会 杉村純子会長）
 - ・日本弁理士会によるスタートアップ支援の取り組みの紹介 及び スタートアップの知財戦略のケーススタディの紹介（本PTリーダー 竹本如洋）

- ・スタートアップ向けYoutube動画・ブログを通じた集客 留意点・今後の展開（日本弁理士会 知的財産支援センター 副センター長、日本弁理士会九州会 副会長 下田正寛氏）
- ・アーリースタートアップのための知財活動（ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 IP & Legal Function リーダ、本PTメンバー 木本大介氏）
- ・スタートアップカフェの紹介（スタートアップカフェ 蓮尾雅大氏）
- ・日本弁理士会九州会の事業紹介（日本弁理士会九州会会長 羽立幸司氏）

8. 内 容：

冒頭、本PT リーダー竹本より日本弁理士会のスタートアップ向け支援の取り組みの紹介及びスタートアップが知財を活用した事例を説明しました。

下田弁理士による「スタートアップ向け Youtube 動画・ブログを通じた集客 留意点・今後の展開」の講演では、Youtube 動画やブログを通じた集客について、知財に関する情報も交えて、留意点及び今後の展望について説明されました。

木本弁理士による「アーリースタートアップのための知財活動」の講演では、「知財とは何か?」、「知財スタンス（知財へ向き合う姿勢）」、「アーリースタートアップの知財活動」という点から、スタートアップのステージに合わせた知財アクション等が説明されました。

質疑応答では、下田弁理士と木本弁理士が、参加者から事前に受け付けた質問及び会場からの質問に回答しながら、ディスカッションを行いました。



1

3月までの支援活動

東北会

令和4年度みやぎ知財セミナー

1. 日 時：令和5年2月7日（火）13：30～15：30
2. 場 所：オンライン開催
3. 参加者：67名
4. 講 師：坪淳一会員（十和田商標特許事務所）
5. 内 容：

企業によるSNSでの情報発信や、WEB会議システムなどの利用、DXの推進が加速している現在、コンテンツ（画像・音楽・商標・肖像権等）についての配慮が求められています。スマートフォンで写真を撮って利用したり、WEBコンテンツをダウンロードして利用することが、簡単にできるようになっていますが、利用する際には一定のルールがあります。これらのことを鑑み、コンテンツ・情報を保護しているルールを、著作権の事例を中心に解説して頂きました。

参加者からのアンケートは2月7日現在集計中ですが、セミナー中及びセミナー後の質問も多く、概ね好評でした。また、参加人数が60名を超えており、注目の高いセミナーでした。

セミナーが始まる前に、日本弁理士会東北会の取組についての紹介を行う時間を頂いて、東北会の活動内容についての説明と、東北会の無料相談会の案内と、今年度から始まった特許商標無料相談会の紹介を行いました。

東北会 藤田正広

関東会

「発明工作授業」江戸川区産業ときめきフェア実行委員会

1. 日 時：令和4年11月20日（日） 14：00～14：15
2. 場 所：タワーホール船堀 2F バンケットルーム
3. 対 象：未就学児～6年生／計約30名
4. 講 師：知財創造教育支援委員会 金子彩子、斉藤進、山下滋之
オブザーバー参加：伊藤夏香、谷島隆士、小屋迫利恵
5. 内 容：

■授業の概要

江戸川区のタワーホール船堀の2F バンケットルームにて、小学生を対象（保護者同伴の未就学児含む）に、発明工作授業を行いました。この体験講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となりました。

電子紙芝居を観てもらった後に、発明工作授業としてマスクケースの工作授業を行いました。発明工作授業では、まずマスクケースの簡単な説明と、イメージが湧きやすいようにサンプルを数点見てもらいました。その後、江戸川区側で用意してくれた、画用紙、ケント紙、シールやマスキングテープを使って、かっこよく（かわいく）装飾を施した個性豊かな自分だけのマスクケースを完成させることができました。出来上がったマスクケースについて、6人ほどに工夫点や、意匠性（装飾点）などをそれぞれ発表して頂きました。全員、自信をもって発表することができ、親御さんにもたいへん満足していただきました。子供たちは、自分の作品（発明）を「家で使うんだ」と言って、手提げ袋に大事に入れて持ち帰ってくれました。

■江戸川区産業ときめきフェア実行委員会事務局の感想

先方の窓口担当者より「第24回産業ときめきフェアにご協力いただきましてありがとうございました。…皆様のご協力のおかげで大きな事故もなく盛況の内に終了いたしました。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。発明工作授業はフェアのイベントの中でも一番人も集まっており、楽し気な様子が伺えとても良かったです。開催をしていただきありがとうございました。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。」との感想を頂きました。

■担当講師の感想

本講座の前後にイベントが入っており、時間的に、資材の搬入搬出等がとてもタイトでした。しかし、オブザーバー参加して下さった委員のお陰で、教室設定等がスムーズに進みました。オブザーバー参加の方々に感謝します。

授業自体は、生徒さん達の手が止まることもなく、皆さん楽しそうにマスクケースを作って帰ってもらえたのが印象的でした。保護者からも久しぶりの体験型授業だったせいか、大変喜んで頂けたと思いました。



知財創造教育支援委員会 斉藤進

「発明工作授業」台東区少年少女発明クラブ

1. 日 時：令和5年2月11日（土）14：00～16：00
2. 会 場：台東区生涯学習センター301号室
3. 対 象：小学1年生～中学3年生28名
4. 講 師：知財創造教育支援委員会

副委員長 伊藤夏香、委員 丸山輝 副委員長 金子彩子

オブザーバー参加：委員 福田純一

5. 内 容：

■授業の概要

まず、クラブ生2人、講師4人、クラブスタッフ1人で、寸劇を行い、日常の不便さを転換することで発明が生まれることを伝えました。

次に、丸山委員が実務経験を基に、レンズ付きフィルム（使い切りカメラ）の発明や知的財産権、フィルムの研究から転じて生まれた顔用美容ジェルの発明や知的財産権のお話をしました。レンズ付きフィルムと顔用美容ジェルが同じ会社の商品ということに驚かれたのではないのでしょうか。丸山委員がジェルの実製品を持参し、クラブ生は手にジェルを塗って見た目やテクスチャ、感触を楽しんでいました。

次に、弁護士でもある福田委員が、アニメキャラクターのイラストを転写したケーキや、アニメキャラクターの形態を模倣した菓子パン、キーホルダなどホンモノ・ニセモノの写真で紹介しました。著作権やその大切さについてしっかり認識できたと思います。

後半は、「あったらいいな、こんなペン立て」の発明工作进行了。消しゴムが底に落ちても拾いやすいペン立て、トレイとしても使えるペン立てなど、自分の課題にあった、一人一人違うペン立てを工夫して作成しました。完成後は、ペン立てのひとつひとつの工夫を発表し、紹介しました。

■ご依頼者様のコメント

子供たちの発想力には改めて驚かされました。先生方の説明に興味津々な姿に、開催できてよかったと感じております。

■担当講師の感想

クラブ生から「どうして知的財産の授業をしようと思ったのですか」と質問を受けました。その回答として、小中学生が工夫して発明をする瞬間に立ち会えることが大好きだから、と改めて実感しました。



知財創造教育支援委員会 副委員長 金子彩子

「知財授業」東海大学付属市原望洋高等学校

1. 日 時：令和5年1月12日（木）14：25～15：15（50分）

2. 会 場：東海大学付属市原望洋高校内の松前記念講堂

3. 対 象：約370名（同校1年生：約350名、教員：約20名）

4. 講 師：知財創造教育支援委員会委員 金子正彦（主担当）

千葉委員会委員 高橋洋平

5. 内 容：

■授業の概要

同校1年生と教員の合計約370名を対象に午後の1コマ（50分）で知財授業を行いました。新型コロナウイルス感染防止対策として参加者たちはマスク着用の上、会場の講堂1F及び2Fの各席を1席ごとに間隔を空けて着座していました。

授業前半（25分）では、第1部講師の高橋が「知的財産と弁理士の基礎知識」として「第1章：知的財産ってなに？」、「第2章：知的財産（権）にはどんなものがあるの？」、「第3章：弁理士ってどんな職業？」の授業を担当しました。第1章では宝石（動産）や家（不動産）と音楽や動画（知的財産）との共通点や相違点を説明し、第2章では知的財産（権）の種類と具体例を紹介、第3章では弁理士の役割と必要な知識を解説しました。また、第2章においては、身近な特許発明の一例である（株）バンダイナムココアミュージックメントのスマホゲーム「太鼓の達人」（曲：マツケンサンバ2）を壇上で学年主任教員にプレイして頂き、そのプレイ画面をプロジェクタで投影したものを受講生と一緒に楽しみました。

授業前半（20分）では、第2部講師の金子委員が「知的財産案件の具体例」として「第4章：水平開きノート」、「第5章：高校生の創作・発明例」、「第6章：発明をするためのヒント」、「第7章：知的財産権をめぐる裁判例」の授業を担当しました。第4章では日本弁理士会が当授業の受講特典として無料配布したノートブック「水平開きノート」を手にとってもらいその特許発明と登録商標を実感してもらい、第5章では近年の Patent コンテストで受賞した同年代の高校生の発明を紹介、第6章では日清食品（株）のインスタントラーメンの発明を例にして開発のヒントを説明し、第7章では切り餅事件を題材として特許書類を作成する際は言葉の意味を明確にすることが重要であることを説明しました。

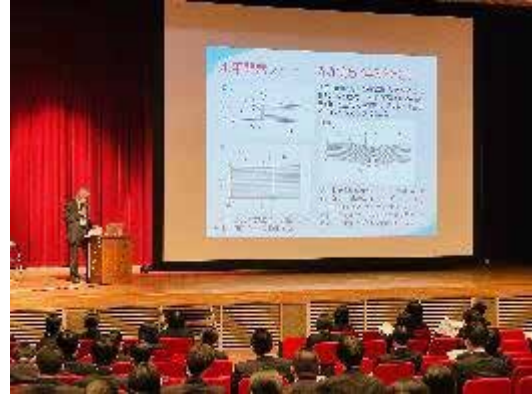
■担当講師の感想

近年、同校から外部授業枠で毎年ご依頼を頂いており、日本弁理士会の知財教育事業の成果が実を結んでいると感じました。今後もこの関係が長く続くことを期待します。

ただ、授業内容が盛りだくさんにもかかわらず、下校時間の都合上、授業時間は延長不可の1コマ50分間だったので、きわめて広く浅くの授業になりました。授業スライドを配布資料にしたので復習すれば理解できる環境を整えましたが、忙しい高校生に外部授業の復習を期待するのは難しいかもしれません。

そこで、授業時間を2コマ（50分×2）に延ばして貰えれば、忙しい高校生が復習しなくても理解してもらいやすく、受講者にも講師にも良い結果を生むのではという印象を受けました。そのことを授業後に同校担当教師に伝えたところ、翌年度以降の依頼の際に検討したい旨の返答を得ました。

■授業風景



千葉委員会 委員 高橋洋平

東 海 会

「第15回おもしろ科学教室」名古屋大学

1. 日 時：令和5年1月9日（月・祝）13:00～15:30
2. 場 所：名古屋大学 IB 電子情報館 大講義室及び014講義室
3. 対 象：（電子紙芝居）小中学生約85名およびその保護者
（工作教室）小中学生31名およびその保護者
4. 講 師：東海会教育機関支援キャラバン隊
隊員 寺本論史・伊藤正典・丹羽純二・榊原靖・榊原毅・久米早江子
5. 内 容：

本年も名古屋大学おもしろ科学教室（第15回）に参加して参りました。このイベントは、科学の面白さや楽しさを体験し、遊びの中から科学への興味や関心を持ってもらうことで、次世代の科学技術の担い手を育てることを目的とし、平成21年から毎年開催され、日本弁理士会東海会（東海支部）は第1回から参加しております。

日本弁理士会東海会教育機関支援機構では、電子紙芝居（レオ君物語）と工作教室（電子万華鏡）とを実施しました。

（電子紙芝居）

冒頭のあいさつで、自己紹介と合わせて「弁理士って知ってる?」、「発明とは?」と問いかけがありました。前者は大人の方が数人手を挙げた程度でしたが、後者は大人も子供も手を挙げてくれました。

電子紙芝居は、昨年と同様に「レオ君物語」の第1章と第2章を上演しました。25分間程度の上演の後に、まとめのスライドで要点を確認しました。上演中は、子供たちからのリアクションもあり、「発明」や「特許」、「弁理士」について理解してもらえたのではないかと思います。

（工作教室）

続いての工作教室では、小学3年生から小学6年生までの31名弱の児童を対象に、電子万華鏡の作成に挑戦し、光を分解する回折格子とLEDとを組み合わせるとどうなるかを体験してもらいました。

工作に先立って、知的財産についてのミニ講義をしました。お菓子や、ジュースを題材とした特許と商標についてのお話で、大いに盛り上がりました。

工作は、手順書を見ながら、説明と作業を並行して行う形で進行了。全体の進行は、1人の委員が担当し、その他の委員全員で分担して、作業に困っている児童がいたら適宜アドバイスをを行いました。今回は、例年よりも参加人数を絞ったとのことで、席に余裕があり、保護者にも児童と同じ席についてもらいました。また、一部の児童には、LEDと電池ボックスの電線を接続するために、はんだごてを使用したはんだ付け作業も体験してもらいました。はんだ付け作業はやけどの危険があるため、児童のみで作業はさせずに、担当委員の指導のもとで作業を行いました。はんだごては3台用意しましたが、担当委員が親切かつ丁寧に指導したことにより、はんだ付け作業待ちの行列ができる程、はんだ付け作業を希望する児童が多くなりました。工作が完成すると、完成した電子万華鏡を覗きこみ、中で点滅する発光ダイオード

のキラキラしている様子を、楽しそうに見ていました。けがやトラブルも無く、決められた時間内に児童全員が工作を完成させることができました。

工作が完成した後に、質疑応答等の時間を設けて、知的財産や、弁理士についての理解を深めてもらいました。

今回のおもしろ科学教室への日本弁理士会の参加は、発明は楽しいということだけでなく、我々弁理士の仕事を少しでも理解してもらおうという観点からも非常に有意義なものであったと思います。



講義の様子



工作の様子

東海会 教育機関支援機構 委員 久米早江子

第5回休日パテントセミナー2022in 名古屋

1. 日 時：令和5年1月14日（土）14：00～16：00
2. 場 所：名古屋商工会議所3階第5会議室
3. 対 象：一般市民、中小企業者、知財担当者など（15名）
4. 講 師：日本弁理士会東海会 知的財産権制度推進委員会
委員長 朝倉美知、委員 今井邦博

5. 内 容：

前半：「特許の外国出願・国際出願を学ぼう」について（担当：今井邦博）

前半のセミナーでは、（1）外国特許出願の必要性、（2）出願方法及び留意事項、（3）出願後の手続、（4）主要国の特徴的な制度について、基本的な考え方を説明しました。

前半と後半で法域を分けたこともあり、（1）～（3）で初歩的・概論的な説明を行い、（4）で少し専門的な内容を説明することを計画していましたが、（1）～（3）の説明がやや厚くなってしまい、バランスが良くなかったかもしれません。説明中、メモを取るなどして熱心に聞いていた方もいらっしゃる一方で、反応が薄い方もいらっしゃいましたので、具体的な説明や踏み込んだ内容を希望されている方のニーズとは少しずれてしまったように思います。

後半：「意匠・商標の外国出願」について（担当：朝倉美知）

セミナー後半では、意匠及び商標の外国出願について説明しました。具体的には、日本からの出願に比率が高く、受講者が比較的興味があると思われる米国・欧州・中国の制度について、日本の制度との比較を交えて各国の特徴について説明を行いました。

今回のセミナーでは、同じ意匠権又は商標権であっても、国により大きく制度が異なるということを感じていただくことを目的に、ざっくりとした資料を作成したものです。一方、日本の意匠・商標制度についても心許ないであろう受講者もいる中で、例え日本の制度との比較であっても、外国の制度についての理解は難しかったのではないかと感じる部分はありました。また、前半・後半のセミナーの時間が各1時間との短い時間の中では、伝えたい内容のポイント

を絞る必要もあるのかも知れないと感じる部分もありました。

講師及び参加いただく受講者ともに、休日の貴重な時間を使ってのセミナーであり、今後、さらに有益なセミナーとできるよう、次回の委員会において委員皆様の意見を聞く時間を設けることができれば考えます。



講義の様子

東海会 知的財産権制度推進委員会
委員長 朝倉美知
委 員 今井邦博

「生活お困りごと無料相談会」名古屋自由業団体連絡協議会主催

1. 日 時：令和5年1月22日（日）10：00～15：00
2. 場 所：ナディアパーク デザインホール
3. 来場者：107名（うち当会相談者 2名）
4. 担 当：広報企画委員会 委員長 古田広人 委員 神谷幸雄・西脇眞紀子
5. 内 容：

生活お困りごと無料相談会は毎年1月に行われる一般市民向けの無料相談会になります。コロナウイルス感染症の影響でここ数年は開催が見送られていましたが、今年は3年ぶりに開催されました。

開場前に数人が並ぶなど、無料相談会に対する期待は感じられましたが、ここ最近もコロナウイルス感染者数が増加傾向にあり、例年に比べると来場者数は少なくなりました。

また、「生活お困りごと」という点からも例年弁護士への相談は1～2件程度にとどまりますが、本年も例年通り2件の相談となりました。

相談会の告知内容によっても相談件数を増やすことも可能だと考えますので、今後検討すべきであると感じます。



相談の様子

東海会 広報企画委員会 委員長 古田広人
 委 員 神谷幸雄
 委 員 西脇眞紀子

「知財紛争劇」鈴鹿工業高等専門学校

1. 日 時：令和5年2月1日（水）12：50～14：20
2. 場 所：鈴鹿工業高等専門学校
3. 対 象：第3学年2クラス80名
4. 講 師：日本弁理士会東海会 教育機関支援キャラバン隊
伊藤正典、瀧川彰人、高田珠美、藤田早百合、菊谷純
5. 内 容：

今回は、今までに知的財産についての勉強をしたことがない生徒も多いということをお聞きしたため、冒頭、特許制度の概要を説明する時間を多く取りました。前提となる知識が不足していると紛争劇の理解も難しくなると思われるため、確認・対応できた点は良かったと思います。

紛争劇については、上記の事情もあり最初は内容が理解できていないように見受けられる生徒もいましたが、演者・司会役ともに劇中で特許制度の趣旨等を繰り返し説明することにより、徐々に理解が深まったと思われ、また劇中の人物への感情移入も進み、最終的に双方の侵害が明らかになる場面では歓声が揚がるほどでした。

劇後は質疑応答の時間を取りましたが、時間いっぱいまで積極的に質問が出ました。今回の紛争劇を通じて、特許制度や弁理士に関する生徒の理解が深まったと思います。



紛争劇の様子

東海会教育機関支援機構 副機構長 伊藤正典

関 西 会

「知的財産特別授業」東近江市立市原小学校

1. 日 時：令和4年12月15日（木）14:45～15:30
2. 場 所：東近江市立市原小学校
3. 対 象：6年生 1クラス 11名
4. 講 師：岸本忠昭、伊原節子
5. 内 容：

東近江市立市原小学校は、鈴鹿山脈の麓の永源寺町にあり、児童数も100人弱の比較的小さな小学校です。明治6年に創立され、今年（令和4年）の150周年を記念して「くすのきの詩」プロジェクト、くすのきの記念植樹、直木賞作家今村翔吾氏の講演会などのイベントが行われていました。

今回の知的財産特別授業（寸劇）は、6年生11名の児童に受けていただきました。知的財産特別授業（寸劇）はなんと言っても児童達が参加すること、特にサラカップル、カタシヤンボトルなどのアイデアを児童達が一緒に考えるところ、また種々の発明品を手にとって触って理解するところが楽しいのですが、コロナ禍で児童達との接触が難しいことから、これら発明品を見て聞くだけになってしまい楽しみも半減したように感じました。児童側と講師側との接触をできるだけ避けながら、講師側の手指消毒を徹底して発明品などを触れることができればと思いました。

それでも、今回は6年生を対象としていたこともあり、落ち着いて静かに話を聞き、こちらからの問いかけに対しても手を挙げて発表する児童が多く、授業の内容にそって考えてもらえることができ、知的財産特別授業としては有益なものになったと思われます。



興味津々の児童達に講義を行う講師

関西会知財授業担当 岸本忠昭

「知的財産特別授業」久御山町立佐山小学校

1. 日 時：令和5年1月20日（金）15:15～16:00
2. 場 所：久御山町立佐山小学校
3. 対 象：5年生 2クラス 33名
4. 講 師：中村忠則、森山彰子
5. 内 容：

今回、私たちが訪問した久御山町立佐山小学校は、明治5年開校の佐古小学校を起源とする歴史のある小学校で、京都府久御山町の国道1号線から少し住宅街に入った静かな環境の小学校でした。PTAの方が企画して頂いたということもあり、児童も保護者の方々も希望者参加ではあるものの、多数の児童、保護者の方々にご参加頂き、参観日のような大変活気のある雰囲気となりました。

最初の挨拶で、中村会員より「弁理士」、「特許」や「発明」についての説明をした後に、森山会員より「商標」や「著作権」の説明をしました。

その後、2025年の大阪・関西万博の説明をした際に、児童からは、万博の公式キャラクターの名前が「ミャクミャク」であるとの発言がありました。

工作授業では、児童の皆さんに、工作室の6つのテーブルに4,5人ずつ分かれて座ってもらいました。工作材料として各児童に、ビー玉20個、工作用紙1枚、ステンレス製のお皿1枚を配りました。さらに、各テーブルに市販品の回転台を1つずつ配り、回転台についてと、作成に当たって解決すべき課題についての説明をしました。

一斉に始めたものの、はじめはなかなか手が動きませんでしたが、今回はたくさんの保護者の方のご協力もあり、保護者の方も声かけや、一緒に考えて下さったことで、回転台の枠の作成から、中のビー玉の動きの制御方法など、少しずつ完成に向かって進み始めました。

また、よく工夫できている児童や少し先に進んでいる児童の作品を紹介することで、そのほかの児童たちも同じように、またはさらに考えをプラスしたそれぞれ独自の回転台を作成し、45分と短い時間ではあったものの、終わりの方には立派に問題点を解決し、作品を完成させた児童もいました。作成途中の児童は家で完成できるように、材料は持ち帰り頂きました。

今回は参観日のような活気のある雰囲気の中、児童それぞれが、回転台の課題解決に向けて非常に頑張ってくれていました。



発想力豊かな児童達と工作を行う講師

関西会知財授業担当 森山彰子

「知的財産特別授業」甲賀市立大原小学校

1. 日 時：令和5年1月31日（火）13:40～14:25
2. 場 所：甲賀市立大原小学校
3. 対 象：6年生 1クラス 34名
4. 講 師：淡路俊作、古澤寛
5. 内 容：

甲賀市立大原小学校を訪問し、知財授業を行って参りました。大原小学校は、滋賀県甲賀市甲賀町の中央部にあり、広い校区には農村地帯や山林が含まれ、緑の多い自然豊かな地域にあります。

授業では、はじめに、司会進行役の淡路会員が、「発明」と「弁理士」について簡単に説明しました。次に、日常の不便を解消するための発明品の事例として、「サラカップル」「カタシャンボトル」「肩ブレラ」を、順番に紹介しました。発明品ごとに、その構造・名称を紹介する前に、生み出されたきっかけとなった不自由さ・問題点を児童たちに伝え、その不自由さ等を解決するための工夫をよく考えてもらいました。発明品を実際に見てもらった後には、その商品名もクイズとして出題しました。児童たちからは活発に意見が出され、身近な物品について実用的な工夫や商品名を考える楽しさを、感じてもらえたように思います。

この後、「サラカップル」を題材とした寸劇では、司会進行役を淡路会員が担当し、「サラカップル」を発明したエフ博士役を古澤会員が担当し、「サラカップル」を模倣して安価に販売する怪人X役を本校の先生に演じていただきました。サラカップルを入手するならエフ博士から本物（今回は250円と設定）を買うか、或いは怪人Xから安い偽物（100円と設定）を買うかという質問には、本物の値段設定が高すぎたためか、怪人Xから安価な方を買うという意見が大多数でした。寸劇後のまとめでは、発明品の模倣が多い社会では、発明へのインセンティブがなくなり、技術の進歩が促進されない旨の説明をしました。

最後に、大阪・関西万博の公式キャラクター「ミャクミャク」と、日本弁理士会のマスコットキャラクター「はっぴょん」を紹介したうえで、日本弁理士会も大阪・関西万博に協力している旨を伝えて、授業を終えました。

今回の授業を通して、発明すること・発明を守ることの大切さや、発明等に関わる弁理士という職業に、児童たちには触れてもらえたと思います。



興味津々の児童達に講義を行う講師

関西会知財授業担当 古澤寛

三会協働知財支援プロジェクト 企業力向上セミナー

1. 日 時：令和5年1月24日（火）17：30～19：30
2. 場 所：大阪弁護士会館、オンライン
3. 受講者：146名（会場：15名、ウェブ：131名）
4. 講 師：Golden Circle Holdings.Pte.Ltd 副社長 原島 和音 氏（基調講演・パネリスト）
弁護士 内田誠 氏（パネリスト）
弁理士 川上桂子 会員（パネリスト）
公認会計士 田中由香里 氏（パネリスト）
弁護士 辻村和彦 氏（コーディネータ）
5. テーマ：NFT×法務×知財×会計 ～基礎の基礎から最前線まで～
6. 内 容：

開会に先立ち、主催者を代表して大阪弁護士会知的財産委員会委員長の小池眞一氏より挨拶があった後、まず第1部の基調講演が行われ、原島氏より、プログラマが使用する用語を平易な用語に置き換えて、ビットコインとブロックチェーンについての基本的な内容の説明がありました。次に、NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）とメタバースについての説明がありました。ブロックチェーンによって唯一無二であることが担保されるため、メタバース上の土地を販売するような新しい概念が成立していることが紹介されました。最後に、NFTを売買するプラットフォームについての具体的な事例を紹介しながら、ブロックチェーンの利点およびブロックチェーンに基づくデジタル資産（画像）の価値などについての説明がありました。

続いて、講演を受けて第2部のパネルディスカッションが行われ、コーディネータの辻村氏の進行で、弁護士の内田氏と、NFTとデジタル資産の民法上の解釈、NFTの譲渡、および、NFTの譲渡とデジタル資産の著作権侵害などについて議論され、次に、弁理士の川上会員と、メタバースと商標をめぐる争い、メタバースでの使用を考慮した商標登録出願、メタバースと意匠、および、不正競争防止法の2条1項3号の国会での見直しなどについて議論され、最後に、公認会計士の田中氏と、近年におけるNFTの会計処理、販売用アートNFTの会計処理の注意点、アート以外のNFTの活用例、NFTの会計基準、および、NFTやFTを用いた取引を行った場合の課税関係などについて議論され、さらに、国税庁から「暗号資産に関する税務上の取り扱いについて（FAQ）」が2023年1月13日に公表されたことが紹介されました。それぞれ盛沢山の内容で、駆け足ではありましたが、議論が噛み合っており、理解し易かったと思われます。





知財普及・支援委員会 大村和史

中国会

中小企業向け知的財産セミナー「特許・意匠・商標の基礎を学ぼう！」

1. 日 時：令和5年2月20日（月） 13：30～15：00
2. 場 所：広島ちゅうぎんビル8F会議室
3. 対 象：5名
4. 講 師：中国会 田中咲江会員、館佳耶会員
（講師補助：黒住智彦会員、松本文彦会員、藤本昌平会員）

5. 内 容：

本セミナーは、中国地方の中小企業に対して、知的財産の基本的知識を習得していただくことを目的として開催いたしました。

第1部では、知的財産全体の基本的な知識、特許出願から権利化までの流れや特許要件、市販されている商品における知財の活用事例を紹介しました。第2部では、意匠・商標に関する手続や登録の効果、及び意匠・商標の活用事例を紹介しました。

参加者からは熱心な質問が次々とあり、質疑応答時間が足りずに延長するほどでした。また、「社内に今日のセミナーの内容を共有して活用したい」「今後中国会での知財無料相談を活用したい」という声もあり、大変有意義なセミナーであったと思います。

まだまだ中国地方の中小企業は知的財産に関する意識が低いのが現状です。中国会として今回のような活動を積み重ね、少しでも中小企業における知的財産の普及、活用を支援いたします。



中国会 広報委員 藤本昌平

九州会

知的財産（種苗法・商標法等）の保護について

1. 日 時：令和5年1月23日
2. 場 所：佐賀市 グランドはがくれ ハーモニーホール
(リアル開催のみ)
3. 対 象：30名ほど（関係者含む）
4. 講 師：青山隆徳、佐賀県庁農政企画課担当者
5. 内 容：

佐賀県内の農林水産品の流通を担う業者の皆様を対象に、弁理士による知的財産権、制度に関する一般的な説明を行うとともに、後半30分程度で佐賀県にて流通、販売促進がなされている果物新品種「いちごさん」「にじゅうまる」（みかん）の種苗の供給、商標の利用条件についての説明を行いました。

当職の担当部分においては、知的財産権についての基本的な知識について、種苗法、商標法を中心に、可能な範囲で特許・著作権等にも言及して制度の説明をいたしました。種苗法については、令和2年度改正の内容についても言及をしております。

参加者としては、上記のとおり主宰者のターゲットは流通業者でしたが、実際には新品種開発の専門家の方も参加されており、聴講者の前提知識に幅があったものと思われます。

なお、本研修会は令和4年12月に開催予定でしたが、県内での鳥インフルエンザの発生により、1月に延期されております。

弁護士・弁理士 青山隆徳

2

支援活動一覧表（4月から）

※緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の適用により中止または延期になっている場合がございます。

相 談

北海道会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
北海道	毎週火・金曜日	常設知的財産相談室	北海道会事務所	北海道会所属弁理士

東北会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
青森	23.04.12	日本弁理士会東北会特許商標無料相談会	坪淳一	青森商工会議所
岩手	23.04.12	日本弁理士会東北会特許商標無料相談会	東田潔	盛岡商工会議所
宮城	毎週火曜日 (13:00~16:00)	常設知的財産相談室	東北会事務所	東北会所属弁理士

北陸会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
石川	23.04.12	常設知的財産相談室	北陸会事務所	横井敏弘
	23.04.26	常設知的財産相談室	北陸会事務所	宮本一浩

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
東京	毎週月～金 10:00～12:00 14:00～16:00	常設知的財産相談室	弁理士会館	関東会所属弁理士
	毎月第2木曜日 9:30～12:30	2023年度東京商工会議所専門相談員	東京商工会議所中小企業相談センター	東京委員会委員
	毎月第2・第4金曜日 10:00～12:00	品川区特別商工相談員派遣	品川区立中小企業センター	松本慎一郎 高橋一哉 鈴木康介
	毎月第3火曜日 13:00～17:00	2023年度東京商工会議所文京支部専門相談員	東京商工会議所文京支部	東京委員会委員
	毎月第2木曜日 13:00～16:00	2023年度下期知財無料相談会（町田）	町田新産業創造センター又はオンライン	東京委員会委員
	毎月第3火曜日 13:00～16:00	2023年度下期多摩地域無料知的財産相談会	たましん事業支援センター（Winセンター）又はオンライン	東京委員会委員
神奈川	毎月第2木曜日 13:30～16:30	令和5年度知財相談窓口（IDEC）	（公財）横浜企業経営支援財団相談窓口	小林俊雄

関西会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
京都	月～金 (10:00～12:00、 13:00～17:00)	「特許・商標等」の無料相談 (要予約・個人面談方式)	京都府北部:舞鶴商工会議所 京都府中部:担当弁理士の事務所又は オフィス・ワン四条烏丸 京都府南部:京田辺市商工会館	京都地区会所属弁理士
大阪	月～金 (10:00～12:00、 14:00～16:00)	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	関西会事務所	関西会所属弁理士
奈良	月～金 (10:00～12:00、 13:00～17:00)	知的財産無料相談 (要予約・個人面談方式) ※電話相談のみ開催	奈良県北部:アクティ奈良 奈良県中部:橿原商工会議所 奈良県南部:五條市商工会	奈良地区会所属弁理士

中国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
広島	毎週水曜日 13:00～15:00	常設知的財産相談室	中国会事務所	中国会所属弁理士

四国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
徳島	第1水曜日(偶数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	徳島県立工業技術センター	四国会所属弁理士
香川	第2水曜日 13:00～15:00	知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国会事務所	四国会所属弁理士
	第2・4水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	丸亀市市民交流活動センター 「マルタス」	四国会所属弁理士
愛媛	第1月曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	八幡浜商工会議所	四国会所属弁理士
	第2木曜日(奇数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	宇和島商工会議所	四国会所属弁理士
	第3木曜日(奇数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国中央商工会議所	四国会所属弁理士
高知	第3木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	高知県発明協会	四国会所属弁理士

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
福岡	毎週木曜日 10:00～15:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) ※状況により相談方式の変更あり	九州会事務所	九州会所属弁理士

講 演

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
栃木	23.04.19または 23.04.26	知的財産特別授業	栃木県宇都宮工業高等学校	若崎義和
東京	未定	発明工作授業	江戸川区こども未来館	伊藤夏香 金子正彦 金子彩子 赤羽崇
山梨	23.04～23.08	知的財産特別授業	山梨県甲府工業高等学校	三原秀子 塩島利之 田中正男 堀内正優 深澤潔 望月義時

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
福岡	2023年度の半年間	知的財産権に関する講義	日本デザイナー学院九州校	竹永光太郎

その他

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
栃木	23.04.01～ 23.08.31	基盤教育科目「知的財産権概論」	宇都宮大学陽東キャンパス	押久保政彦 須長英男
千葉	23.09.01～ 23.12.31	千葉工業大学寄附講座	千葉工業大学	千葉委員会委員

3

支援活動一覧表（3月分）

相 談

北海道会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
北海道	毎週火・金曜日	常設知的財産相談室	北海道会事務所	北海道会所属弁理士

東北会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
青森	23.03.08	日本弁理士会東北会 特許商標無料相談会	青森商工会議所	角田世治
岩手	23.03.08	日本弁理士会東北会 特許商標無料相談会	盛岡商工会議所	丸岡裕作
宮城	毎週火曜日 (13:00~16:00)	常設知的財産相談室	東北会事務所	東北会所属弁理士
山形	23.03.15	日本弁理士会東北会 特許商標無料相談会	山形商工会議所	黒沼吉行

北陸会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
石川	23.03.16	常設知的財産相談室	北陸会事務所	水野友文

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
埼玉	22.04.01~ 23.03.31	埼玉県農業経営・就農支援センター (埼玉県農業経営相談所) 専門家候補者	(公社) 埼玉県農林公社・各農林振興センター(8か所)、農業者宅等、またはオンライン	飯塚道夫 石塚勝久
	22.04.01~ 23.03.31	士業専門家による無料相談会(埼玉県産業振興公社)	創業・ベンチャー支援センター埼玉	埼玉委員会委員
千葉	23.03.01	2022年度(一社)千葉県発明協会相談室(市川商工会議所)	市川商工会議所	若田充史
	23.03.01 23.03.15	2022年度(一社)千葉県発明協会相談室(佐倉商工会議所)	佐倉商工会議所	八木田智 高田大輔
	23.03.02 23.03.16	2022年度(一社)千葉県発明協会相談室(船橋商工会議所)	船橋商工会議所	日向麻里 田久保泰夫
	23.03.07	2022年度(一社)千葉県発明協会相談室(木更津商工会議所)	木更津商工会議所	高橋昌義
	23.03.28	2022年度(一社)千葉県発明協会相談室(習志野商工会議所)	習志野商工会議所	角田朗
	23.03.28	2022年度弁理士による特許無料相談会(東葛テクノプラザ)	東葛テクノプラザ	山川啓

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
東京	22.04.01～ 23.03.31	令和4年度台東区商工相談	台東区中小企業振興センター	竹澤誠 吉田信彦 澁川喜和夫 藤岡茂
	23.03.02～ 23.03.04	第16回としまMONOづくりメッセ	サンシャインシティ展示ホール B	藤岡茂 伊藤夏香 鈴木康介 澁川喜和夫 太田洋子 森田昭生
	23.03.09	2022年度東京商工会議所専門相談員	東京商工会議所中小企業相談センター	藤岡茂
	23.03.09	2022年度下期知財無料相談会（町田）	町田新産業創造センター又はオンライン	本谷孝夫
	23.03.14	2022年度下期多摩地域無料知的財産相談会	たましん事業支援センター（Winセンター）又はオンライン	三原秀子
	23.03.24	2022年度下期BusiNest無料知的財産相談会	BusiNest 内会議室又はオンライン	徳本浩一
	23.03.24	2022年度豊島区専門家合同相談室	豊島区役所本庁舎 4 階東側 面接・相談室	東京委員会委員
神奈川	23.03.09	令和4年度知財相談窓口（IDEC）	（公財）横浜企業経営支援財団相談窓口	青木充
	23.03.10 23.03.24	神奈川県立川崎図書館令和4年度知的財産相談事業	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	山口康明 後藤仁志
山梨	23.03.14	令和4年度弁理士による特許無料相談会（富士吉田）	富士吉田商工会議所 2 階会議室	望月義時

関西会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
京都	月～金 (10:00～12:00、 13:00～17:00)	「特許・商標等」の無料相談 (要予約・個人面談方式)	都府北部：舞鶴商工会議所 京都府中部：担当弁理士の事務所 又はオフィス・ワン四条烏丸 京都府南部：京田辺市商工会館	京都地区会所属 弁理士
大阪	月～金 (10:00～12:00、 14:00～16:00)	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) ※電話相談とウェブ相談のみ開催	関西会事務所	関西会所属弁理士
奈良	月～金 (10:00～12:00、 13:00～17:00)	知的財産無料相談 (要予約・個人面談方式) ※電話相談のみ開催	奈良県北部:アクティ奈良 奈良県中部:橿原商工会議所 奈良県南部:五條市商工会	奈良地区会所属 弁理士

中国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
広島	毎週水曜日 (13:00～15:00)	常設知的財産相談室	中国会事務所	中国会所属弁理士

3. 支援活動一覧表（3月分）／相談／講演

四国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
徳島	第1水曜日(偶数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	徳島県立工業技術センター	四国会所属弁理士
香川	第2水曜日 13:00～15:00	知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国会事務所	四国会所属弁理士
	第2・4水曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	丸亀市市民交流活動センター「マルタス」	四国会所属弁理士
愛媛	第1月曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	八幡浜商工会議所	四国会所属弁理士
	第2木曜日(奇数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	宇和島商工会議所	四国会所属弁理士
	第3木曜日(奇数月) 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	四国中央商工会議所	四国会所属弁理士
高知	第3木曜日 13:00～16:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式)	高知県発明協会	四国会所属弁理士

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
福岡	毎週木曜日 10:00～15:00	常設知的財産相談室 (要予約・個人面談方式) ※状況により相談方式の変更あり	九州会事務所	九州会所属弁理士

講 演

北海道会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
北海道	23.03.28	学内 FD 研修	公立千歳科学技術大学	大窪智行

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
東京	23.03.04	新宿区立高田馬場創業支援センター セミナー講師派遣	新宿区立高田馬場創業支援センター	伊藤夏香
	23.03.07	東京商工会議所千代田支部 セミナー講師派遣	廣瀬ビルディング大会議室	太田洋子
神奈川	23.03.07	知的財産セミナー2022 (3/7神奈川)	オンライン	美川公司 岩崎晋
	23.03.08	知的財産セミナー2022 (3/8神奈川)	オンライン	林郁夫 二間瀬寛
	23.03.10	令和4年度企業関係者と弁理士の知財研究会	神奈川県立川崎図書館カンファレンスルーム	樋口正樹 大野玲恵

東海会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
愛知	23.03.01	名古屋市立桜田中学校「知的財産授業」	名古屋市立桜田中学校	伊藤正典
	23.03.01	名古屋市立桜田中学校「知的財産授業」	名古屋市立桜田中学校	伊藤正典
	23.03.10	愛知県立名古屋工科高等学校における知財授業「知的財産とは」	愛知県立名古屋工科高等学校	奥田誠
	23.03.13	愛知県立名古屋工科高等学校における知財授業「知的財産とは」	愛知県立名古屋工科高等学校	奥田誠
	23.03.14	愛知県立名古屋工科高等学校における知財授業「知的財産とは」	愛知県立名古屋工科高等学校	奥田誠

関西会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
大阪	23.03.03	日本弁理士会関西会 × INPIT-KANSAI オンラインセミナー「中小企業こそ知っておきたい！ノウハウ保護」	オンライン	深町裕一氏 (INPIT-KANSAI 知的財産戦略工 キスパート) 小沼良平

九州会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
佐賀	23.03.13	白石町職員研修（知的財産制度研修）	白石町総合センター	山野有希子

経営センター

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
福島	23.03.10	中小企業向け知的財産セミナー 「活路を開く事業戦略の策定法～知的財産 の側面から見た事業の立ち上げ・再構築の ヒント～」	オンライン	相田悟 吉田信彦
石川	23.03.01	知財は身近にある！知財は武器になる！～ 競争力・交渉力・企業価値の向上に活用す る～	石川県地場産業振興センター新館	宮田誠心

その他

北陸会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
石川	23.03.08	石川県職域創意工夫功労者表彰審査会	石川県地場産業振興センター	松田光代 木森有平 村田健誠

関東会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
栃木	23.04.01～ 23.08.31	基盤教育科目「知的財産権概論」	宇都宮大学陽東キャンパス	押久保政彦 須長英男
千葉	23.09.01～ 23.12.31	千葉工業大学寄附講座	千葉工業大学	千葉委員会委員

四国会

開催県	日付	イベント・セミナー名等	会 場	講師(弁理士、他)
香川	23.03.02 23.03.13	四国経済産業局令和4年度地域商材ブラン ディング支援事業	須崎市コミュニティセンターかが やき	中越貴宣

常設知的財産相談室(無料)

※すべて事前予約制です。

東海会



052-211-3110

URL : <https://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間：月～金曜日／13：00～16：00

北海道会



011-736-9331

URL : <https://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間：

毎週火曜日・金曜日／14：00～16：00

関西会



06-6453-8200

URL : <https://www.kjpaa.jp/>

相談時間：月～金曜日／10：00～12：00、
14：00～16：00

東北会



022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間：毎週火曜日／13：00～16：00

中国会



082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間：毎週水曜日／13：00～15：00

北陸会



076-266-0617

URL : <https://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間：

※相談日はホームページをご覧ください。

四国会



087-822-9310

URL : <https://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間：

※相談日はホームページをご覧ください。

関東会



03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間：月～金曜日／10：00～12：00、
14：00～16：00

九州会



092-415-1139

URL : <http://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間：毎週木曜日／10：00～12：00、
13：00～15：00

中小企業の知財を活かして成長を支援します！

【弁理士知財キャラバン】のご紹介

知財を経営に活かすコンサルティングスキルをもった弁理士が
最大3回訪問して、共に課題を解決し業績アップを目指します。

●Point！

- ・費用は無料(日本弁理士会が負担します)。
- ・これまで150社以上の中小企業に対して支援を実施しています。



詳細はコチラ▶



問い合わせ先：日本弁理士会 弁理士知財キャラバン 担当
E-mail: caravan@jpaa.or.jp

<https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan>

お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話：03-3519-2709(直) FAX：03-3519-2706

MAIL：shien@jpaa.or.jp

URL：https://www.jpaa.or.jp/support_activity/